

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0270600158		
法人名	社会福祉法人 福祉の里		
事業所名	ふるさと十和田		
所在地 (電話番号)	〒034-0061 青森県十和田市切田字横道100-22 (電話) 0176-25-6322		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成22年2月25日	評価確定日	平成22年5月4日

【情報提供票より】(平成 21年 12月 28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 11年 12月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 人, 常勤換算 8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,660 円	その他の経費(月額)	2,430 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	210 円	昼食 260 円
	夕食	310 円	おやつ 円
	または1日当たり 780 円		

(4) 利用者の概要(12月 28日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	5 名	要介護4	1 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	85.8 歳	最低	78 歳
		最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	十和田第一病院、浅原歯科医院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホームは自然に囲まれており、四季を感じられる。併設の介護老人保健施設と協力体制があり、入居者が地域の中で安全に安心して生活を送れるように支援している。また、ISOにも取り組まれており、衛生面、危機管理等がケアにも活かされている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題となっていた「地域とのつきあい及び地域貢献」については、住宅地から離れているという立地のため難しい面はあるが、今後運営推進会議に町内会長にも参加していただけるよう呼びかけをする予定である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は全職員で取り組んでいる。また、外部評価の結果を職員に伝達し、改善に向けて話し合いをしている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議には、本人とその家族、介護保険課の職員、事業所の職員が参加している。外部評価の結果や事業所の取り組みについて報告し、意見をいただき、サービス向上に活かしている。今後、町内会長も運営推進会議へ参加して頂けるように働きかけていく予定である。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>日頃から話しやすい雰囲気づくりに心がけている。また、家族へ電話連絡した際に意見が聞かれることもある。出された意見は運営に反映している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域のお祭りや小学校行事などの招待状をもらい、積極的に参加し交流している。また、小中高生の体験学習やボランティアも受け入れている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (すでに取組んでいることも含む)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員で話し合い、地域の中で生活をしていくというホーム独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝の申し送り時に全職員で理念を唱和している。ホールには、職員が習字で手書きした理念を掲示している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域のお祭りや小学校行事などの招待状をもらい、積極的に参加し交流している。また、小中高生の体験学習やボランティアも受け入れている。今後、町内会長にも働きかけ、老人会などへ参加を促す予定である。		町内会長に働きかけ、老人会などへの参加を促す予定があるとのことなので、今後の取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (すでに取組んでいることも含む)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価は全職員で取り組んでいる。また、外部評価の結果を職員に伝達し、改善に向けて話し合いをしている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には、本人とその家族、介護保険課の職員、事業所の職員が参加している。外部評価の結果や事業所の取り組みについて報告し、意見をいただき、サービス向上に活かしている。今後、町内会長も運営推進会議へ参加して頂けるように働きかけていく予定である。</p>		<p>町内会長にも運営推進会議へ参加して頂けるように働きかけていく予定があるとのことなので、今後の取り組みに期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議や課題が出た場合はその都度市担当者へ相談している。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>内部研修で権利擁護について学ぶ機会があり、職員は理解している。家族からの問い合わせがあれば、情報提供できる。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修にて周知し、職員は理解している。日々の業務の中でも注意し合える体制となっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (すでに取組んでいることも含む)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時の説明は丁寧に行い、理解を得られるように努めている。疑問があった場合は管理者だけでなく、職員も対応できる。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホーム便りや面会時、電話連絡により本人の様子を報告している。金銭管理についても領収書をコピーしてホーム便りと一緒に送付している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃から話しやすい雰囲気づくりに心がけている。また、家族へ電話連絡した際に意見が聞かれることもある。出された意見は運営に反映している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>併設の事業所との異動はあるが、最小限に抑えるようにしている。普段からホームへの行き来があるので、顔なじみとなっており、入居者へのダメージは少ない。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (すでに取組んでいることも含む)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修部会があり、一年間の内部研修計画をたてて実施している。外部研修にも参加し、職員のスキルアップに努めている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の事業所との交流があり、情報交換を行い、サービスの質の向上に活かしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に自宅へ訪問し、情報収集している。得た情報は職員で共有し、入居者が馴染めるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者から種のまき方や干し柿の作り方を教わり、一緒に作業をし、入居者ができないところはさりげなく手伝うなど共に支えあう関係を築いている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (すでに取組んでいることも含む)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の会話の中から本人の意向の把握に努めている。困難な場合においては家族から情報を得ている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族から入居時に聞き取りをしたり、面会の時などに意向を伺い、介護計画に反映させている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は6ヶ月に1回見直しをしている。状態変化した場合は、その都度家族へ報告して介護計画を変更している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所専用の車両があり利用している。ドライブ、病院への通院、行事参加など柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (すでに取組んでいることも含む)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望により協力病院や入居前からのかかりつけ医がある場合は継続して支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームの方針では、看取りの取り組みが進んでいないが、今後は母体と話し、看取りへ向けた取り組みをしていく予定である。		家族からの意向を聞きながら、終末期や重度化に向けてかかりつけ医と相談しながら体制を整えていく事を期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の記録は、事務所内に保管している。声かけも一人ひとりに合わせ、プライバシーを損ねるような言葉かけや対応はしていない。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者のペースに合わせ、一人ひとりの意見を尊重した支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (すでに取組んでいることも含む)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の献立表は、併設事業所の栄養士が作成している。時折、メニューの一品を変更してホームで収穫された食材を取り入れている。入居者の状態により食事の準備や野菜の皮むき等を行なっている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>決められた入浴表はあるものの、一人ひとりの希望に合わせて変更している。清拭、足浴もしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>来客へお茶を出しておもてなししたり、作品を作ったり、洗濯物を干す等、入居者ができること、やりたいこと、今までやってきたことの支援をしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物や散歩等、本人の意向に合わせて外出支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (すでに取組んでいることも含む)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>内部研修などで説明し、職員は理解している。日頃から身体拘束のないケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関はオートロックになっている。日中は鍵をかけておらず、安全確保のため夜間のみ鍵をかけている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回避難訓練を実施している。今後、地域の方にも協力を得られるよう働きかける予定である。</p>		<p>地域住民にも協力を得られるよう働きかける予定があるとのことなので、今後の取り組みに期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事の献立表は併設事業所の栄養士が作成しており、バランスがとれている。食事、水分摂取量を記録し、不足のある入居者へは状態に応じた支援をしている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症のマニュアルが作成されている。職員がいつでも見られるように事務所管理されている。玄関には、消毒液も設置しており、外部の方にも予防を呼びかけ実施している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (すでに取組んでいることも含む)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花や手作りの作品を食堂に飾っている。季節が感じられ、居心地よく過ごせる空間作りに努めている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が自宅で使用していた家具や湯のみ等の小物を持ってきていただいている。写真を飾っている方もおり、本人が過ごしやすい居室となるよう工夫している。</p>		

 は、重点項目。